



TOGURI MUSEUM OF ART  
戸栗美術館  
2023 年度

# 展覧会スケジュール

戸栗美術館は 1987 年、渋谷区松濤に開館しました。当館創設者 戸栗亨が収集した東洋陶磁器を中心とする美術品の永久的な保存および公開を通じた、後世への文化遺産の伝承を目的として活動しています。主な所蔵品は、江戸時代に佐賀・有田にて日本初の国産磁器として誕生した伊万里焼、その技術を活用して徳川将軍家への献上品として創出された鍋島焼、そして、中国および朝鮮半島の陶磁器など。中でも江戸時代の伊万里焼の展開を通観できる体系的・網羅的な内容が特長です。年に 4 回の企画展を収蔵品主体で構成しています。



色絵 花鳥人物文 蓋付六角壺  
伊万里 (柿右衛門様式)  
江戸時代 (17 世紀後半)  
通高 31.4cm

## 「柿右衛門」の五色 —古伊万里からマイセン、近現代まで—

2023 年 4 月 8 日 (土)~6 月 25 日 (日)

濁手素地に赤・青・緑・黄・金を基本に彩色した柿右衛門様式の伊万里焼は国内外で人気を博しました。今展では素地や絵具の色に注目して、江戸時代と近現代の「柿右衛門」作品約 80 点を陳列いたします。



青磁染付 樹鳥文 葉形三足皿  
伊万里  
江戸時代 (17 世紀後半)  
口径 28.0cm

## 古伊万里の「あを」 —染付・瑠璃・青磁—

2023 年 7 月 7 日 (金)~9 月 24 日 (日)

「あを」とは白と黒の間の広い範囲の色を指し、主として青・緑・藍を言います。古伊万里の「あを」に注目し、染付の青や上絵具の青や緑、瑠璃釉、青磁釉の作品を展示いたします。



青磁瑠璃銕釉 竹虎文 三足皿  
伊万里  
江戸時代 (17 世紀中期)  
口径 23.8cm

## 伊万里・鍋島の 凸凹文様

2023 年 10 月 6 日 (金)~12 月 21 日 (木)

伊万里焼や鍋島焼には絵付け以外にも線彫りや型による浮き文様、透かし彫りなど様々な装飾技法が用いられています。一見気付きにくい、しかし繊細な凹凸文様の作品約 80 点をご堪能ください。



色絵 花鳥文 輪花皿  
伊万里 (古九谷様式)  
江戸時代 (17 世紀中期)  
口径 20.4cm

## 花鳥風月 —古伊万里の文様—

2024 年 1 月 7 日 (日)~3 月 21 日 (木)

「花鳥風月」とは、自然の美しい風物あるいは風雅な趣を楽しむ風流な行いを意味します。今展では古伊万里約 80 点のうち花、鳥、風景、月を描いた作品をご紹介します。

開館時間：10 時 00 分~17 時 00 分 金曜日・土曜日は 10 時 00 分~20 時 00 分 (入館は閉館 30 分前まで)

休館日：月曜日・火曜日 (祝日の場合は開館し、両日とも祝日の場合は翌平日休館)、展示替え期間

- ご来館の前に必ず当館ホームページにて最新情報をご確認ください。●マスク着用やご入館時の検温、手指消毒にご協力をお願いいたします。
- 会期や開館時間等は予告なく変更となる場合がございます。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。

当館ホームページ

@toguri\_museum @toguri\_museum

